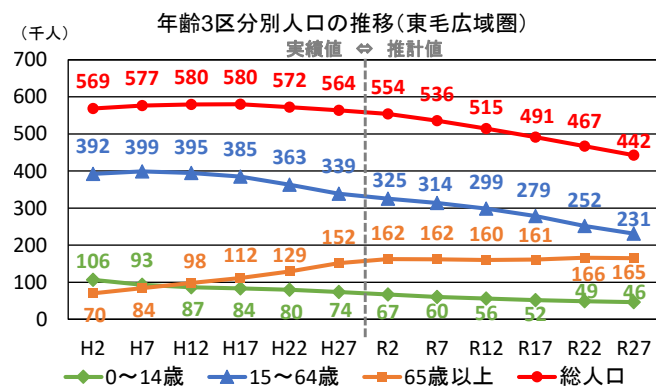


## ■地域公共交通の現況等

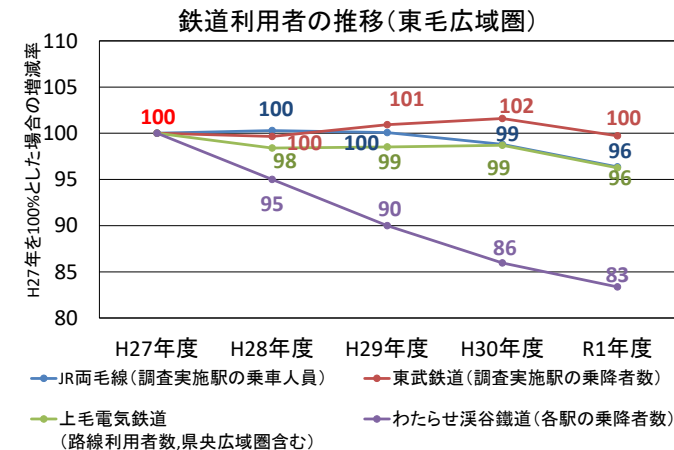
- 鉄道は、ＪＲ両毛線(足利～桐生～伊勢崎)、東武伊勢崎線(館林～足利～太田)、東武日光線(新古賀～板倉東洋大前～栃木)、東武佐野線(館林～佐野)、東武小泉線(館林～太田、西小泉)、東武桐生線(太田～新気流～赤坂)、上毛電気鉄道(西桐生～赤城～新里)が通っている。民間路線バスはほとんどなく太田市１路線、大泉町１路線だけである。そのため行政運営の路線バス及びデマンド交通が運行されている。
- 館林都市圏は鉄道網が充実しており、それを補完する行政運営の路線バスが館林駅中心に多く運行されているが運行本数が少ない。
- 大泉町は町営バス、民間路線バスが各１路線で交通空白地域がある。(高齢者等限定デマンド交通が補完)
- 太田市は鉄道、民間路線バス、市営の路線バス(有料と無料)で市内をカバーしているが、北部地域は交通空白地域があり太田駅へ直接アクセスする移動が多い。
- みどり市は市内デマンド交通が運行されている。桐生市への移動が多くみられるがその連絡手段が十分でない。
- 桐生市は、市街地部が鉄道、路線バスでカバーされている。新里、黒保根地区はわたらせ渓谷鉄道があるが人口が少なくデマンド交通、自家用有償運送が運行。

## ■人口の推移



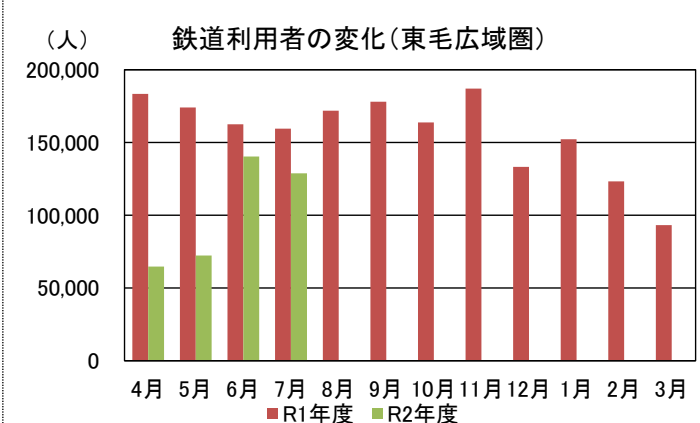
- 今後総人口は減少し令和27年には現状の80%となるが、高齢者人口は微増となるため高齢化率が現状の約29%から令和27年には約37%になると予測されている。

## ■鉄道利用者の推移



- 鉄道利用者の推移は、東武鉄道が横ばい、ＪＲ両毛線及び上毛電気鉄道が微減、わたらせ渓谷鉄道の減少が著しくH27年からR1年の4年間で18%の減少傾向となっている。

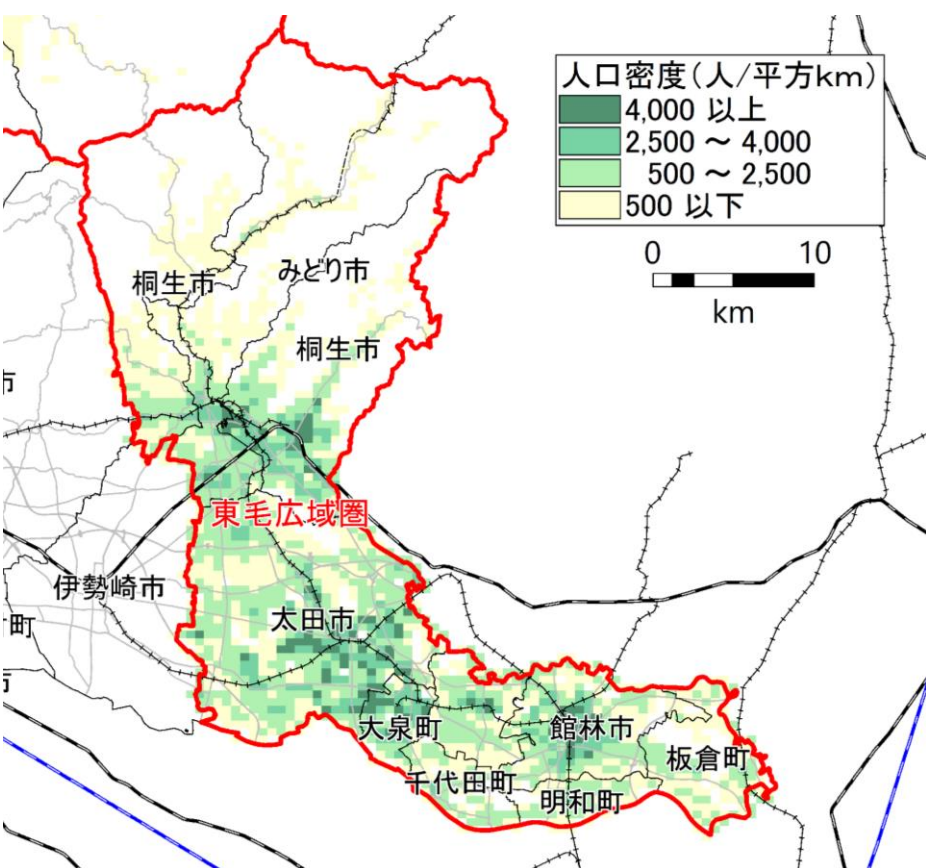
## ■鉄道利用者の新型コロナウイルスによる影響



※上毛電気鉄道(県央広域圏含む)及びわたらせ渓谷鉄道乗車人員(人/月)

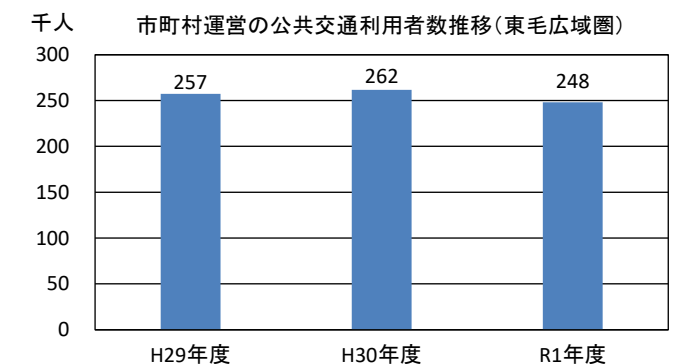
- 新型コロナウイルスによる鉄道(上毛電気鉄道とわたらせ渓谷鉄道の2路線)利用者への影響は、R2年度4月には前年度比約35%に減少し、6月になり前年度比約86%まで回復したが、7月に微減に転じている。

## ■人口密度(平成27年国勢調査)



- これまでの公共交通補助政策を前提とすると、人口密度を指標とした場合に適用する交通手段は、一般路線バスが2,500人/km<sup>2</sup>以上、コミュニティバスが500人/km<sup>2</sup>以上2,500人/km<sup>2</sup>未満、小型車両や区域運行が500人/km<sup>2</sup>未満程度と言われている。館林市、大泉町、太田市、桐生市、みどり市の市街地部では路線形態が可能なレベルの人口密度となっている。桐生市・みどり市の中山間地は路線形態でのサービスが難しい人口密度の低い地域が広がっている。鉄道では、わたらせ渓谷鉄道沿線の人口密度が低い。

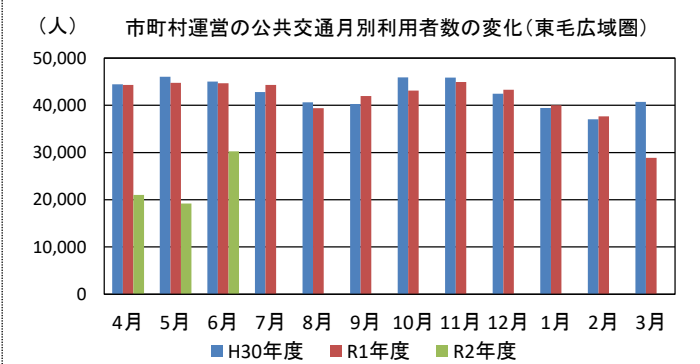
## ■市町村運営の公共交通(バス、乗合タクシー等)利用者の推移



※桐生市MAYU、太田市営無料バス、広域公共路線バス(おおぞら以外)、大泉町高齢者等デマンド交通「ほほえみ」を除く。

- 市町村運営の公共交通(バス、乗合タクシー等)の利用者数は、H29年度からR1年度まではほぼ横ばいである。

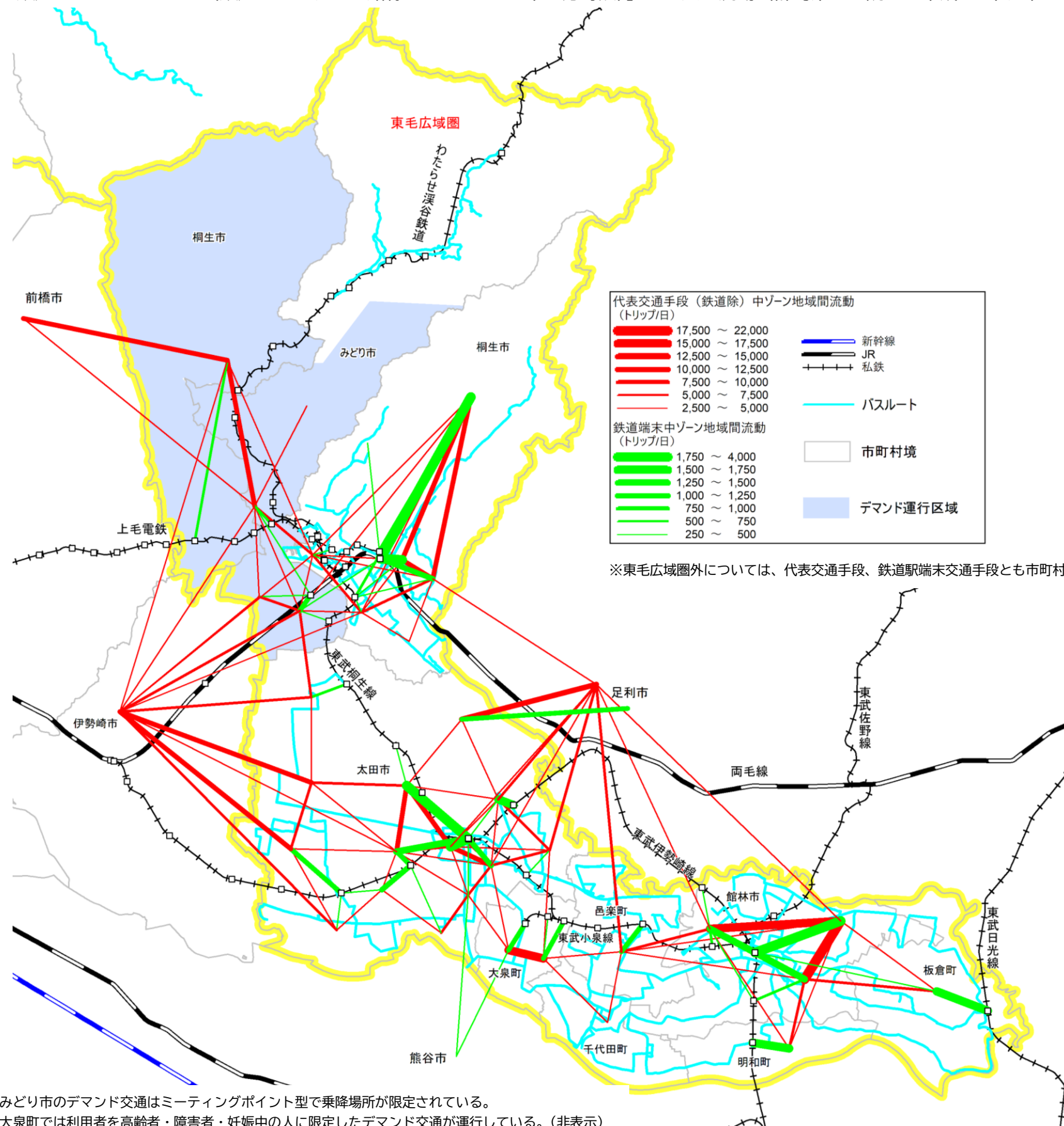
## ■市町村運営の公共交通(バス、乗合タクシー等)の新型コロナウイルスによる影響



※桐生市MAYU、太田市営無料バス、シティーライナーおおた(市内循環線)、おうかがい市バス、広域公共路線バス(おおぞら以外)、大泉町高齢者等デマンド交通「ほほえみ」を除く。

- 新型コロナウイルスによる市町村運営の公共交通(バス、乗合タクシー等)の利用者への影響は、R1年度の3月からみられ、3月は前年度比約71%、R2年度4月には前年度比約47%と急激に減少し、5月が前年度比43%と最も落ち込み、6月になり前年度比約68%に回復した。

■「鉄道バスネットワーク（鉄道データ、バス路線データは2020年9月時点）」と「人の流動（群馬県PT調査 平成27年、中ゾーン集計）」



※東毛広域圏外については、代表交通手段、鉄道駅端末交通手段とも市町村単位で集約

- この図は鉄道・バスネットワーク（区域運行は着色）に、東毛圏域内の人流（鉄道を除く全代表交通、全目的）と鉄道駅端末（全手段、全目的）の人流を重ね合わせたものである。
- 館林都市圏はデマンド交通ではなく路線バスでカバーしている。館林北部から館林南部、館林北部から館林西部の移動が多いが、直通ではなく館林駅を経由するルートで連絡されている。
- 太田市・大泉町はデマンド交通でカバーされているが、太田市の北部は最寄り鉄道駅への需要が少なくバス路線がサービスされていないため、直接、太田駅へアクセスする需要が多い。
- 桐生市・みどり市では、黒保根町、新里町及びみどり市ではデマンド交通でカバーされ、路線バスが運行されていないが、ゾーン間移動をみると移動需要がみられる。
- 東毛広域圏外との結びつきは、代表交通手段でみると伊勢崎市及び前橋市との移動が多いが、駅端末でみると足利市及び熊谷市との移動量が多い。

- ※ みどり市のデマンド交通はミーティングポイント型で乗降場所が限定されている。
- ※ 大泉町では利用者を高齢者・障害者・妊娠中の人に限定したデマンド交通が運行している。(非表示)
- ※ 太田市では利用者を高齢者・障害者に限定したデマンド交通が運行している。(非表示)
- ※ 明和町の乗合タクシーのチョイソコめいわは無料で実験実施中である。(非表示)